

皇工會報

第16号

平成21年2月26日

発行 日立工業高校同窓会
発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎0294 (22) 1049

FAX0294 (21) 4591

印刷所 協立印刷

☎0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も、会員の皆様のご協力をもちまして、会報第十六号の発行を迎えることとなりました。感謝申し上げます。

会員の皆様には、母校卒業後には各支部に入会し、大いにご活躍していることと思います。支部の近況報告などありましたら、同窓会事務局へご連絡くだされば幸いです。

母校におかれましては、同窓会

名誉会長の山田修一校長が、今年度の定期人事異動にて水戸商業高校へのご栄転されました。本校において、同窓会活動にご尽力され、誠にありがとうございました。

新たに、勝田工業高校より高畑啓治校長をお迎えし、新校長の下、県北地区に誇る工業高校として、教員が一丸となり後輩の指導にあたり、母校が工業教育の真髄を發揮し、これからも地域社会を支える有為な人材を輩出してくれるよう、全力で取り組んでくれることと思います。

最近、アメリカのサブプライムローンから始まり、米証券大手のリーマンブラザーズの倒産で、世界的な金融危機に陥り、景気悪化に直面し、日本経済にも厳しさを増しております。政府も追加経済対策での減税など、色々と対策を考えている今日ですが、景気回復には一段と厳しさを増すのではないかと考えられます。

あまり良い話題のない、暗い世相の中、母校の陸上部の活躍には素晴らしいものがありました。二月に行われた皇高校新人駅伝では、二十六年ぶり優勝を果たし、そして去る十一月五日に行われた第五十九回県高校駅伝におきまして、二十九年ぶり四回目の優勝を果たすことができました。

特に、今年は下馬評では県ナンバードンと言われ、歯車が狂えば優勝は危ふまれるというプレッシャーに打ち勝ち、七人の標が見事に渡り、優勝を果たし悲願の全国大会の切符を手にすることができました。陸上部の活躍に、同窓会として、喜びもひとしおです。

最近の高校スポーツ界においては、私立高校の活躍が目立ち、公立高校の活躍の場が少なくなっている中、陸上部の夢を絶やさず、日々努力を積み重ね、伝統を受け継ぎ、その標が二十九年ぶりに見事に渡り、同窓会として、我が母校が師走の都大路を走る七人の日工健児の姿に、一層の喜びを感じております。

他の部も、陸上部の活躍に刺激され、大いに奮起し、「日工健児ここにあり」を示してくれますことを祈念しております。

学校長挨拶

学校長 高畑 啓治



この四月に赴任いたしました、歴史と伝統のある本校で大変お世話になっております。同窓会の皆様方には日頃から本校教育活動発展の為、多大なご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、サブプライムローン問題による世界の金融危機、中国製冷凍野菜の殺虫剤入り問題、さらには年金問題など国民生活が不安に取り巻いている中で、ノーベル物理学賞と化学賞に日本人研究者の四人が選ばれたニュースは、我々に夢と勇気を与えてくれました。「科学技術創造立国」日本に相応しい快拳だったと思います。このようなことから科学を目指す若者が益々増えて欲しいと願っています。特に、最近の若者は技術・理科離れが目立つようになり、本県の工業系高校で学ぶ生徒数の割合